

塩化ベルベリン Berberine Chloride

塩化ベルベリンはオウバクやオウレンなどに含まれるアルカロイド成分の一種で、古くから苦味健胃薬、腸内殺菌整腸剤として広く用いられている塩基性化合物です。その構造に4級アミンをもっていることからHPLCで分析する場合、十分な保持が得られず、イオンペア試薬を使用することが有効です。

そこで今回はイオンペア試薬としてペンタンスルホン酸ナトリウムを用いて塩化ベルベリンの分析を行いました。**L-column2 ODS**であれば過塩素酸を用いなくとも保持時間が十分となり、テーリングもなくピーク形状の良好なクロマトグラムが得られました。

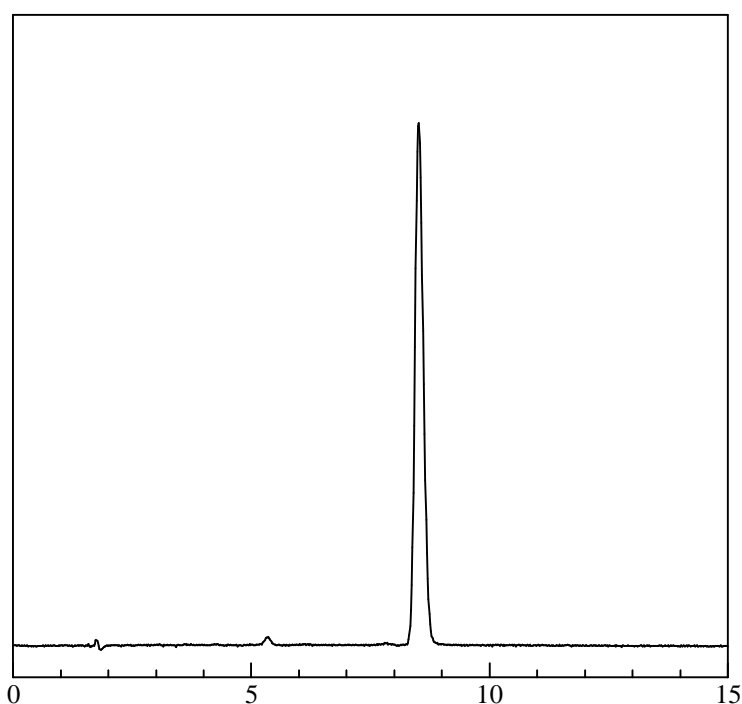
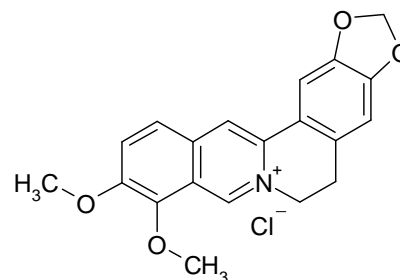


Fig. Chromatogram of Berberine Chloride



Berberine Chloride (50 mg/L)

【Analytical conditions】

Column	: L-column2 ODS (5 μm, 12 nm) 4.6 × 150 mm
Mobile phase	: CH ₃ CN/H ₂ O (30/70) 10 mM Sodium 1-Pentanesulfonate
Flow rate	: 1 mL/min
Temperature	: 40
Detection	: UV 340 nm
Injection volume	: 5 μL in CH ₃ CN